

SDGs テーマに探究学習

ニュース時事能力検定試験

N 檢 NEWS
時事能力検定

古屋経済大市邨高校（いち むら なごやけいざいだいしづるこうこう）（名古屋市千種区）の松野至教諭（42）が講師となり、教育関係者ら約40人が参加した。

松野教諭は、新聞やニュースを教材に時事問題の授業を実践している。4年前の授業でシリア難民の幼児が地中海で水死した問題を取り上げたこ

とがきっかけとなり、生徒たちが「誰一人取り残さない世界の実現」というSDGsの目標達成のために何ができるかを考えるようになったという。

海外で難民支援に携わる日本人とオンライン勉強会を開くなど探究学習を進め、ヨルダンの難民キャンプやカンボジアの貧困地域に支援物資を届ける活動に取り組んだことも報告。松野教諭は「行動する生徒を育てるためには、教師も悩みながら一緒に探究していくことが大切だ」と強調した。

授業では、タブレット端末のソフトを活用して、生徒たちの意見を匿名で集約した結果、「普段は意見を言わない生徒が自由に討論するようになり、深い学びにつながった」と振り返った。

また、ロシアによる軍事侵攻で国外に避難しているウクライナ人を支援するため、難民問題を学んだ生徒の有志が名古屋市内で取り組む募金活動



を映像を交えて紹介し、国境を超えて広がる探究学習の成果を説明した。

セミナーでは、毎日教育総合研究所のスタッフが、時事問題のテーマごとにSDGsの17目標が一目で分かるように編集されたニュース検定の公式テキストの活用法についても説明した。【尾崎敦】



難民支援の様子を紹介する名古屋経済大市邨高校の松野至教諭「Zoom」議システムから14日